

令和元年 8月28日

加賀市議会

議長 田 中 金 利 様

I C T推進特別委員会

委員長 高 辻 伸 行

I C T推進特別委員会からの提言について

標記の件について、本委員会では「加賀市イノベーションセンターの運営体制整備」を調査テーマとし、これまで調査・研究してまいりました。

このたび、執行部に対する下記の提言書を取りまとめましたので、この取り扱いについて、御配慮いただきますようお願いいたします。

記

1. 送付資料 加賀市イノベーションセンターの運営体制整備に関する提言書

加賀市イノベーションセンターの運営体制整備に関する提言書

近年の著しい人口減少は、地域経済に多大な影響をもたらすことから、経済の再生・活性化は喫緊の課題であります。そのため、各自治体等では、課題解決に向けイノベーションによる新事業・新産業を創出し、地域の新たな雇用と所得を生み出すような仕組みを展開しています。

現在、加賀市でも次世代を担う産業人材の育成や市内企業への新技術導入支援の強化、新産業の創出に取り組むため、平成30年10月に「加賀市イノベーションセンター」を開設し、創業後間もない起業家の支援を目的とするインキュベーションオフィスを稼働させています。

加賀市議会ICT推進特別委員会では、市の取り組み状況や入居者の状況等の調査をはじめ、先進地の様々な類似施設での取り組みを視察し、「加賀市イノベーションセンター」の運営体制を更に充実させるための有効な手段について研究してまいりました。

その結果、「加賀市イノベーションセンター」に民間活力を導入し、経営支援の知識の講習や入居者同士のネットワークの強化、起業家の発掘のためのビジネス創出プログラムの開催のほか、入居者の満足度や入居メリットを高めるためには、常駐のインキュベーションマネージャーを配置するなどの支援体制が必要との結論に至りました。

そこで、市当局においては、本委員会が行った調査・研究結果を踏まえ、「加賀市イノベーションセンター」のより一層の充実を図るため、下記の事項に留意し、体制を整備することを提言します。

記

1. 常駐のインキュベーションマネージャーを配置すること
2. 法人設立、税務、労務、法務等の個別相談が受けられる環境をつくること
3. コワーキングスペースは、人や企業が集まる交流しやすい仕掛けづくりを行うことや、新しいアイデアが生まれるようなスペースとすること
4. 加賀市イノベーションセンターに民間活力を導入すること
5. 市の独自性を生かした魅力ある施設とすること
6. スタートアップ企業の支援と合わせ、先進の優良企業のサテライトオフィスの誘致を積極的に行うこと
7. インキュベーションルームの入居企業が卒業した後も加賀市で活動できるような支援体制を構築すること

参考資料：本委員会の調査・研究資料

令和元年 8月28日

加賀市議会 ICT推進特別委員会

1. 加賀市イノベーションセンターについて

加賀市イノベーションセンターは、市の成長戦略事業の一つとして掲げる「スマート加賀IoT推進事業」の人材育成拠点として整備した市直営の施設である。

創業後間もない法人または、創業を目指す方などの支援（スタートアップ支援）として相談員を配置し、インキュベーションルーム11室整備し、現在8室入居がある。

そのほか、ものづくりルーム、セミナールーム、コワーキングスペースが整備されており、スタートアップ支援として、月3回、市内の中小企業診断士の相談体制をとりハード・ソフト両面でのサポート環境を提供している。

2. 先進地のイノベーション拠点・インキュベーション施設等の機能について

①大阪市（ソフト産業プラザTEQS）

ソフト産業プラザTEQSでは、運営を業務委託することで、民間委託のメリットを最大限に生かし、テクノロジービジネスを創り出すところから、ワンストップで支援している。

インキュベータオフィスでは、インキュベーションマネージャーと中小企業診断士による定期面談及び日常相談を実施するほか、インキュベーションマネージャーのネットワークを生かした協業パートナーのマッチング事業の実施など、創業後間もない企業のバックアップ体制を敷き、入居3年で安定収益化を目指す取り組みを行っているとのこと。

②大阪府八尾市（みせるばやお）

みせるばやおでは、イノベーション推進拠点として次世代のクリエイティブ人材の育成を図るほか、参画企業同士のコラボレーションに繋げることを目的としており、施設では、会員企業の経営者層限定の交流の場「おとなば（Bar）やお」を開催し、お酒を飲みながらお互いの会社の取り組みなどを話しあい、交流することでコラボレーションを生み出し、ものづくりのイノベーションへと繋げているとのこと。

③金沢市（ITビジネスプラザ武蔵）

ITビジネスプラザ武蔵では、インキュベーション機能のほか、首都圏のクリエイターによるトークイベントや、起業家の成長に役立つスキルやノウハウを学ぶセミナーなどのイベントを多数開催し、人材育成・交流機能の充実を図っているとのこと。

④福井県（福井県産業情報センター）

福井県産業情報センターの指定管理者は、福井県内の総合的な産業支援機関であることから、経営に関するアドバイスが受けやすく、定期的に行われる交流会や勉強会により、スキルアップや人脈形成がしやすい環境の中で、企業の成長のバックアップ体制をとっているとのこと。

⑤能美市（いしかわクリエイトラボ）

いしかわクリエイトラボの立地場所は、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学を中核に、民間施設5社、国・県等の6施設の研究機関や支援機関の各施設が集まる場所にあることで、大学や各機関との共同研究や、異業種間の情報交換が行いやすいなどのメリットのほか、中小企業向けの戸別の賃貸スペースがあり、インキュベーション施設を卒業後の支援についても取り組んでいる。

3. まとめ

先進地のインキュベーション施設では、入居者の満足度を上げるための様々な取り組みが行われており、これらの視察を通し、特に創業間もない方、これから起業を考えている方への支援体制の充実は必須であると考えます。

具体的には、常勤のインキュベーションマネージャーを配置し、経営に関する起業のノウハウ、人やハード面でのマッチング等の相談がいつでも受けられるようにすることや、士業による法人設立、税務、労務、法務等の個別相談窓口等の支援体制を整えることのほか、起業家の発掘のためのビジネス創出プログラムやセミナーを開催すること。

また、民間活力を導入し、人や企業が集まり交流しやすい仕掛けづくりや、新しいアイデアが生まれるようなコワーキングスペースを創出することのほか、地域の方も利用可能な、飲食ができる店舗（Beer Bar など）の出店により、交流しながらお互いの意義・スキルを高められるような交流拠点とすることで、新しいイノベーション創出に繋げていくことが必要である。

そのほか、スタートアップ企業の支援とあわせ、先進の優良企業のサテライトオフィスの積極的な誘致活動を行うとともに、インキュベーションルームの入居企業が卒業した後も、加賀市で活動できるような支援体制として、起業家と関連企業とのコラボレーションや人脈形成など、企業の成長のバックアップ体制の構築にも取り組むべきであると考えます。